



校訓『勤勉 友愛 感謝』

第 10 号  
令和 8 年 2 月 2 日発行  
堺市立福泉南中学校  
校長 中島 寛

## 「忙しい」とって後回しにしていないか？！

～足りないのは時間ではなく工夫だ！～

暦の上では春を迎えますが、まだ寒さの厳しい日が続いています。いよいよ一年の締めくくりとなる学年末が近づいてきました。これまでの学びをしっかりと仕上げる時期となりました。皆さんの努力が一年間の成果として結実する大切な時期です。この時期は、テストや提出物、まとめの学習など、やるべきことが多く、気持ちが重くなることもあるでしょう。そんなとき、人は「時間がない」「難しすぎる」と、やれない理由を探しがちです。しかし、その理由を並べても、状況は変わりません。大切なのは、目の前のできることに一歩を踏み出すことです。

弘法大師・空海にも、学びの道を歩む中で困難に直面した逸話があります。若き日の空海は、唐に渡り膨大な経典や仏教思想を学びましたが、すべてを理解するのは容易ではありませんでした。それでも彼は「今できることを積み重ねる」姿勢を崩さず、一つひとつの学びを丁寧に深めていきました。予定より早く習得を終え帰国した際には「そなたはなぜ 20 年の留学期間のはず。なぜ 2 年で帰国したのか？怪しいではないか」と役人に疑われて九州に留め置かれたそうですが、思うように教を学べない環境下でも諦めず山中で厳しい修行を重ねながら、「一つのことを極めるには、最後までやり抜く力が必要だ」と悟ったと伝えられています。途中で諦めれば、どんなに優れた才能も花開くことはありません。空海はその後入京を許され、それから一層学問と信仰を深めながら日本文化に大きな足跡を残しました。その背景には、学びを仕上げる粘り強さがあつたのです。

また空海と並んで有名な僧、最澄の言葉に「一隅を照らす」というものがあります。自分の持ち場で精一杯努力することが、やがて周囲を照らし、社会を明るくするという意味のことばです。皆さんもこの学年末、自分の一隅をしっかりと照らし、輝かしい春を迎えてください。学年末は、まさにその姿勢が求められる時期です。完璧を目指す前に、まずは一つの課題に取り組む。ノートを見直す、問題を一問解く——小さな行動が、やがて大きな成果につながります。「できない理由」ではなく「できる一歩」を選

ぶこと。それが次の学年への自信となり、未来を切り開く力になります。さあ、この学年末、目の前の一隅を照らす一歩を踏み出しましょう。

2 月行事予定表

月 日	曜日	予 定	給食	月日	曜日	予 定	給食
1	日		×	17	火	3年公立高校懇談② 1・2年教育相談② 物品販売	1.2
2	月	全校集会（杜行会） 専門委員会 オープンスクール（～6日） 3年租税教室（1～3限）	1.2.3	18	水	3年公立高校懇談③ 1・2年教育相談③	1.2
3	火		1.2.3	19	木	公立高校特別選抜入試 3年公立高校懇談④ 1・2年教育相談④	1.2
4	水		1.2.3	20	金	公立高校特別選抜入試	1.2.3
5	木	1年命の授業	1.2.3	21	土		×
6	金		1.2.3	22	日		×
7	土		×	23	月祝	天皇誕生日	×
8	日		×	24	火	1・2 年学年末テスト①	×
9	月		1.2.3	25	水	1・2 年学年末テスト②	×
10	火	私立高校入試、ノックアウトデー	×	26	木	1・2 年学年末テスト③、諸費振替	×
11	水	建国記念の日 私立高校入試 （面接ありの高校のみ）	×	27	金		1.2.3
12	木		×	28	土		×
13	金		1.2.3				
14	土		×				
15	日		×				
16	月	3年公立高校懇談① 1・2年教育相談①	1.2				